

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

白馬村まち・ひと・しごと創生推進計画（第2期）

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県北安曇郡白馬村

### 3 地域再生計画の区域

長野県北安曇郡白馬村の全域

### 4 地域再生計画の目標

本村の人口は、2005年の約9,500人をピークに減少しており、住民基本台帳によると令和7年には約7,500人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060年には総人口が5,000人を下回る見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は、1960年の1,928人をピークに減少し、2020年には929人となっている一方、老年人口（65歳以上）は1960年の516人から2020年には2,782人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2000年の6,184人をピークに減少傾向にあり、2020年には4,781人となっている。

自然動態をみると、出生数は1997年の109人をピークに減少し、2024年には34人となっている。その一方で、死亡数は2024年には87人と高止まりの状態が続いており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲53人（自然減）となっている。

社会動態をみると、コロナ禍の2020年には転入者（712人）が転出者（1,362人）を下回り、社会減（▲650人）であった。その後、社会増に転じているものの、本村は観光業における冬季の労働需要に伴う海外からの短期在住者（季節労働者）が多く、毎年転入出が激しい状況にあり、社会増減のみで定住人口の状況を判断することはできないが、冬季以外の人口（定住人口）は減少傾向にある。リゾート開発の進展により、地価や家賃、物価が上昇し、地域の暮らしやすさが失われつつあ

ることも、若者を中心とした定住人口の減少に拍車を掛けている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、住民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、若者を中心に社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、地方創生に資する事業の実施を通して目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 【しぜん】 自然と共に生き、自然の豊かさを育む
- ・基本目標 2 【ひと】 人と共に生き、心の豊かさを育む
- ・基本目標 3 【まち】 安心して快適に暮らし、社会的な豊かさを育む
- ・基本目標 4 【しごと】 地域資源を活かし、経済的な豊かさを育む

### 【数値目標】

5-2 の①に 掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	自然環境・生態系の保全に関する施策の満足度（5段階評価の平均値）	2.82	3.10	基本目標 1
ア	温室効果ガス排出量（年間）	87,516t	45,343t	基本目標 1
ア	公共施設の再生可能エネルギー発電量（年間）	146万kWh	210万kWh	基本目標 1
ア	リサイクル率	17.1%	18.9%	基本目標 1
イ	出生数（年間）	34人	35人	基本目標 2
イ	子育て支援に関する施策の満	2.87	3.10	基本目標 2

	足度（5段階評価の平均値）			
イ	将来白馬村に住みたいと思っている中高生の割合	76%	80%	基本目標 2
ウ	定住人口	8,314人	8,072人	基本目標 3
ウ	自分は地域の一員であると感じている人の割合	76%	80%	基本目標 3
ウ	地域活動・まちづくり活動に参加したいと回答した人の割合	68%	75%	基本目標 3
ウ	デマンドタクシー「ふれAI号」利用者数（年間）	15,571人	19,000人	基本目標 3
エ	観光振興により地域住民の暮らしが豊かになると思う人の割合	44.4%	60.0%	基本目標 4
エ	観光産業での継続従事希望（宿泊事業者のやりがい）	61.3%	70.0%	基本目標 4
エ	地域経済循環率	69.6%	75.0%	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

白馬村まち・ひと・しごと創生寄附活用事業

ア 自然と共に生き、自然の豊かさを育む事業

イ 人と共に生き、心の豊かさを育む事業

ウ 安心して快適に暮らし、社会的な豊かさを育む事業

エ 地域資源を活かし、経済的な豊かさを育む事業

## ② 事業の内容

ア 自然と共に生き、自然の豊かさを育む事業

白馬村の財産である自然環境を守り、生かし、次世代に受け継ぐ事業

### 【具体的な事業】

- ・水資源・森林資源の保全と生物多様性の回復
- ・気候変動対策・脱炭素推進（省エネ・創エネ）
- ・資源循環（3R推進）等

イ 人と共に生き、心の豊かさを育む事業

多様な人々が理解・尊重し合い、つながりを育み、一人ひとりの自己実現を叶えながら、支え合いと感謝を循環させる事業

### 【具体的な事業】

- ・多文化共生・多世代交流の促進
- ・子育て支援・教育環境の整備
- ・健康づくりとスポーツ推進
- ・生涯学習の充実と歴史・文化の継承 等

ウ 安心して快適に暮らし、社会的な豊かさを育む事業

自治と共助の精神を受け継ぎ、一人ひとりが当事者意識を持って地域づくりに主体的に取り組む、地域の安全・安心を向上する事業

### 【具体的な事業】

- ・定住促進と行政区支援及び関係人口創出による担い手の確保
- ・安心・安全な社会基盤の整備と公共交通の最適化
- ・効果的・効率的な行財政運営 等

エ 地域資源を活かし、経済的な豊かさを育む事業

国際山岳リゾートとしての環境整備と農村集落の歴史・文化の継承により、経済循環と文化継承を実現する事業

### 【具体的な事業】

- ・繁閑差の緩和を実現するための観光コンテンツの創出
- ・認定農業者の支援と地産地消の推進

- ・域外に依存している産業分野の創業支援
- ・地域通貨を活用した地域経済循環の向上 等

※なお、詳細は白馬村第6次総合計画・総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,500,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに白馬村行政公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

## 6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで